

厚生労働科学研究委託費（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策実用化研究事業）
受託業務成果報告書（業務項目）

1. 糖尿病合併症重症度評価パネル・診療科間連携パス・データベース構築の準備

研究代表者	佐藤哲子	京都医療センター臨床栄養代謝研究室	室長
研究分担者	長田太助	自治医科大学内科学講座	教授
研究分担者	斎藤能彦	奈良県立医科大学第一内科	教授
研究分担者	片岡大治	国立循環器病研究センター脳神経外科	医長
研究分担者	緒方奈保子	奈良県立医科大学眼科学教室	教授
研究分担者	長谷川浩二	京都医療センター展開医療研究部	部長
研究分担者	野田光彦	国立国際医療センター糖尿病研究部	部長
研究分担者	赤司朋之	佐賀大学医学部肝臓・糖尿病・内分泌内科	臨床教授
研究分担者	林野泰明	天理よろづ相談所病院糖尿病内科	副部長
研究分担者	小谷和彦	自治医科大学臨床検査医学	准教授

研究要旨

既存コホートから日本人特有の糖尿病合併症重症度評価パネルとそれに基づく簡易予測リスクコアを構築し、診療科間連携パス・共通パネルを作成し、診療科間の地域連携方式を確立する。さらに診療科間・地域連携パネルに基づく新規地域連携コホートを構築し、糖尿病合併症進展予防率を検討することにより、地域連携による医療経済効果の評価や医療連携の保険点数化の提唱が期待できる。

A. 研究目的

糖尿病地域連携の拡充・標準化とその透視等合併症予防効果・医療経済効果を明らかにする。また各地域の糖尿病診療体制を全国レベルでの均てん化に向けた標準化も試み、将来のわが国の地域連携モデルの構築を目指す。

併症の評価法と診療体制の標準化を目的とした合併症重症度評価パネル、および診療科間連携パス・共通パネルを構築する。心血管疾患リスク因子等について、糖尿病合併症評価法としての適切性を検証し、評価項目の最適化をはかる。

B. 研究方法

診療科間・地域連携に向けて、各糖尿病合

C. 研究成果

糖尿病合併症重症度評価パネル・診療科間連携パス・地域連携パス・データベースの

構築の具体的方法を討議し、下記項目の策定を行った。患者背景（既往歴、喫煙等の生活歴、服薬状況など）、検査項目（体組成、血糖・HbA1c・TC等の血液検査、尿検査など）、合併症関連検査（眼底検査、動脈硬化指標、うつ検査）などの選定を行い、重症度評価パネルの調査項目一覧を作成した。

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

該当なし

2. 実用新案登録

該当なし

D. 考察

各糖尿病合併症の専門家からなる研究体制の利点を生かし、日本人特有の糖尿病合併症重症度評価パネルと効果的な診療科間・地域連携のためのパスシートを構築することができた。本成果に基づき研究計画書を完成させ、班会議を開催するなど、緊密な連携のもと研究の進展が見込まれる。

E. 結論

糖尿病合併症重症度の評価指標を選定し、それらの評価項目に基づく連携パスの試案を完成させた。検査項目や地域連携の具体的方針が固まったことにより、倫理委員会での承認に向け大きく前進したと言える。

F. 健康危険情報

該当事項なし

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし